



のも特筆するべき点で、リム形状で深さが出ないぶん、ディスク全体を落ち込ませることで、奥行き感や迫力を与えることに成功している。最後にフィニッシュについては参考にした3008にひと工夫を加え、マッドグレーブラッシュドディスク×ブラックアルマイトリムとした。限定モデルのブラックエディションを

SPEC
ホイール
WORKグノーシスCVX
9J×21インチ +31

タイヤ
ミシュランパイロットスポーツ4 SUV
265/40-21

サスペンション
H&Rダウンサス
グリル&エンブレム
グロスブラック塗装
外装小物パーツ
グロスブラックラッピング

モチーフにした引き締め感のあるボディにしっかりとくる、じつに精悍な足元が印象的な一台に仕上がった。

WORK GNOSIS CVX

× Macchina RANGE ROVER EVOQUE

前後のディープコンケイブが
奥行き感と圧倒的な迫力を与える

マッキナが仕立てたイヴォークの足元には
グノーシスCVXの新設計21インチフルリバースを装着。
SUVの足元を華麗に引き立てている技ありのマッチングなのだ

問●ワーク 西日本 TEL.06・6746・2859 中日本 TEL.052・777・4512 東日本 TEL.048・688・7555

www.work-wheels.co.jp

撮影協力●マッキナ TEL.072・446・3733 www.macchina-style.com

写真&文●浦野浩之

悩めるSUVオーナーの味方
マッキナが仕立てたイヴォーク！
大阪のマッキナといえば、ドイツ車に限らず、イタフラなど幅広いメーカーのスタイルアップをこなすプロショップ。既成パーツの有無に囚われない水圧転写アレンジを得意としていることもあり、非メジャーな車種が集うイメージが強い。非メジャーといえど、SUVのスタイルアップもそのひとつ。SUV自体はいまやシーンのど真ん中に位置するが、スタイルアップとなるとパーツも少なく、なかなかイジるのが難しい。近頃は水圧転写をキッカケに、悩めるSUVオーナーの受け皿にもなっているのだとか。

こちらのイヴォークは、スタッフ近藤サンが乗るブジョー3008を参考にホイールを選んだ。
装着するのは3008と同じグノーシスCVXの21インチモデル。じつは同モデルには今期から22インチ（ステップリム）が追加となり、その副産物として21インチにフルリバースリムが追加となったことで、21インチはステップとフルリバースのリム形状が選択可能となった。これまでのステップリム仕様であれば、リム形状や深さで迫力を演出することができた。が、ボディの大きなSUVの場合、単純なホイール径やデザインへの伸びやかさを優先したい気持ちもあり、今回は新設計の21インチフルリバースを装着することに。また、イヴォークはキャリパーとクリアランスに余裕があるため、前後ともディープコンケイブが選べる



↑細いシングルスポークとツインスポークをアシメトリーに配列したツイストデザインが特徴。今回は21インチのフルリバースリムということで、サイズ以上に伸びやかな印象に仕上がった



←金属の質感が際立つマッドグレーブラッシュドディスクをベースに、輪郭を引き締めてくれるブラックアルマイトリムをコンボ。またイヴォークは前後にディープコンケイブが装着できるのも美点だ



→特別仕様車のブラックエディションをモチーフに、グリルやウインカー周りをペイントとラッピングでブラックアウトしている